清流ニューズ

発行所
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニューズ編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jpn.org/

令和三年度総祈願

日蓮上人御一周忌回向法要ならびに報恩御奉公成就
本年度教化誓願達成之御願
ブロック内各教区各部見直し・再編成御奉公円満成就
次世代御弘通に向けた取り組み推進 随喜感得運動励行

三月の御総講日
一日 十時 御修行日
七日 十時 バースデー総講
十三日 十時 高祖御命日
十七日 十時 開導御命日
廿五日 十時 門祖御命日
於 清流寺
十二日 十時 高祖御遠夜
十六日 十時 開導御遠夜
廿四日 十時 門祖御遠夜
三十日 十時 歓尊御命日
於 羽村別院

特別行事
春季彼岸会総回向
廿日 十時 本寺
廿四日 十時 羽村別院

会議
一日 御総講後 役中会議
廿日 午後一時 参事会、ブロック長会議
廿五日

三月二十日 春季彼岸会併日蕣上人納骨式

彼岸の意義を正しく知ろう
仏道修行に励みご先祖に感謝を忘れずに！

彼岸とは正しくは、到彼岸といい、彼の岸、向う岸、仏教では悟りの世界を指します。

それに対して、此岸、こちらの岸、迷いの世界。

彼岸の行事は、日本独特の行事で、インドや、中国にはありません。

彼岸の期間は、七日間で、最初の日を「彼岸入り」、最後の日を「彼岸明け」と呼び俗に、中日（なかび）にご先祖に感謝し、残る六日は、悟りの境地に到達する為に、必要な六つの項目「六波羅蜜」即ち、布施、持戒、忍辱、精進、禅定、智慧の六度行を修行するのです。

お祖師様は

「夫れ彼岸とは、春秋の時正の七日、信男信女あって若し、彼の衆善を修して↘

↙小行を勤むれば、生死の此の岸より、苦海の蒼波を凌ぎ菩提の彼岸に到る時節なり故に、此の七日を彼岸と号す」

佛立第廿四世講有講尊小山日誠上人におかれましては、去る、一月三十日、法寿九十歳を以てご遷化あそばされました。

日誠上人と清流寺は、ご縁が深く、当山初代住職日序上人とは特にご昵懇であられ、日序上人の葬儀の際は、葬儀委員長をお勤めいただきました。

佛立第廿四世講有講尊・小山日誠上人ご遷化

日誠上人のご葬儀は、二月二日仮通夜が、清秀寺ご高職権大僧正・岡本日苑上人、二月三日、本通夜を遠妙寺ご高職前宗務総長・僧正・木村日覚導師、ご本葬は、二月四日本宗宗務総長・小西日演導師ご唱導の下しめやかに執り行われました。ここに謹んでご生前中のご教導を深謝申し上げます。

同帰亭要語録

法悦

釈迦一仏の悦び給ふのみならず。諸仏出世の本懐なれば十方三世の諸仏も悦び給ふべし。我即ち歓喜す諸仏も亦然なりと説かれたれば、仏悦び給ふのみならず、神も即ち随喜し給ふなるべし。

（持妙法華問答抄 474）

本門法華経というのは上行所伝のお題目のことで、これを持つというのは受持で、無始已来の言上のときに「**持チ奉ル**」という事で、「**持チ奉ルトハ受持也。受持トハ口唱也。**」と示されてありますから本門法華経を持つというのはお題目を唱えるという事に外なりません。そこで、

この御妙判は

「**南○経と唱へる時は釈迦仏のみならず、諸仏も皆悦ばれ、守護の諸天善神も随喜される。諸仏の使命は法華経を説くことであり、諸天善神のつとめは口唱の行者を守ることである。**」

という事を示されたのであります。仏様に喜んで頂けるような御信心が出来れば所願成就は疑いのないところであります。

御信者にとって「**お題目の口唱**」は修行の根本であり、欠かしてはならぬことであり、道の如きものであり、闇夜における灯りの如きものであるということを左の如くお示しであります。

「**道ハ暫クモハナルベカラズ、離ルベキハ道ニアラズト。闇夜ニ灯火ハ、ハナツベカラズ。常ニ歩キナレタル道ダニモ灯火ナクテハ人ニ行キ当タリ、久シク通ラヌ道ニハ池モ出来、穴モ掘レタリ。サレバ落入ルアヤマチ必ズアルナリ。大法又カクノ如シ。ローソクヲ懐ニストモ、トモサザル時ハクラシ。受持スレドモ口唱セザレバ利生顕ハレズ。口唱ヲ怠ルハ信行ノユルム也。必ズ災害来タラントス。**」

（開導要決）

一向令唱題目というのが末法における法華経の修行ですから、どんなときでも口唱信行は怠ってはならないのであります。**口唱に励んで仏祖に喜んで頂き、口唱をつとめて、諸天のお護りを頂き、法悦の日々をおくるのが御信者の日常でなくてはなりません。**

とお示しになられ、春分、秋分の二季、七日の間につとめる修行の功徳の大なることをお示しになられています。

彼岸とは、御文にありますように、涅槃の世界、寂光浄土、これに対して、此岸とは現実の娑婆世界をいいます。

彼岸を寂光として、此岸を娑婆と例えてあります。

したがって、彼岸会とは、仏道修行により、迷いのこの娑婆世界から、悟りの寂光浄土に行くことです。

彼岸中に、墓参も結構ですが、仏道修行に励むことも忘れないでほしいものです。

三月 祈願参詣
二日～六日
朝参詣延長して
一、二、三ブロック

三月二日より六日迄の五日間、朝参詣を三十分延長して御弘通発展、コロナ終息のご祈願をさせていただきます。

コロナ禍ですので、將引を強調することはできませんがとにかく、余分にお看経を上げて、お縋りするより方法はありません。

三月二日(火)　元八王子教区
三日(水)　八王子西教区
四日(木)　八王子東教区
五日(金)　八王子南教区
六日(土)　八王子北教区